

がんばる
担い手

100年以上も続く産地を末永く

日本を代表するブランド梨「日田梨」生産部会が取り組む産地復興

大分県日田市 J A おおいた日田梨部会 生産部長 判田紀一さん

J A おおいたは、県下19 J A が合併した広域 J A です。管内は、霧島火山帯や英彦山々系といった山々が面積の多くを占めており、起伏に富んだ環境のなかで地域の特徴を活かしたさまざまな品目が生産されています。

今回は、日田市で100年以上栽培されている「日田梨」の生産者である、J A おおいた日田梨部会生産部長の判田紀一さんを訪ねました。

ii 「四季を通して日田の梨」!!

判田さんは、農業大学卒業後に20歳で就農しました。就農当初から梨一筋で、現在「幸水」「豊水」「あきづき」を中心に約1.5haの面積を1人で管理しています。

判田さんが生産部長を務める日田梨部会のキャッチフレーズは「四季を通して日田の梨」で、品種リレーや貯蔵出荷を活用し年間を通して出荷しています。

また、判田さんは「日田梨」の名前を広げていくための取り組みを次のように話してくださいました。

「部会全体でJGAPを取得し、台湾、ベトナム、タイなどへの輸出拡大を図っています。また、地元企業と連携した6次産業化・商品開発などを行っており、ブランド化に向け積極的な取り組みを部会員だけでなく J A や行政と連携して進めています」



地元の酒蔵と開発した梨リキュール

甚大な被害を受け、一時は生産量が大きく落ち込みました。産地復興をしようにも、梨は植樹から収穫まで約5年かかるといわれており、未収益期間が長いことから一筋縄ではいきませんでした。しかし、「100年以上も続いた産地を守りたい」との思いから、判田さんを含む日田梨部会と J A ・行政が一体となり、2019年から「日田梨創造的復興プロジェクト」が始まりました。

このプロジェクトは、J A が主体となって園地をリース方式で貸し出し、未収益期間の初期費用を軽減することに加え、省力的な作業体系を構築できる「流線型仕立」を導入して将来的な生産性向上に貢献するものです。

判田さんも J A ・行政の提案により2021年度からこのリース園制度を活用することにしました。

ii 関係機関への恩返しは“収穫”!!

判田さんは、新植から収穫まで5年かかるといわれる梨を3年目から収穫しています。その理由を「関係機関への恩返し」とし、今後の展望を次のように語ります。



判田さん(左)と J A の高野 TAC(右)

「これだけ関係機関が協力してくれたことに対し、産地が応えられるのは1日でも早い出荷。品質・収量をさらに安定させていくことで『日田梨』ブランドをもっとつくり上げ、産地を盛り上げていきたい」

産地復興とブランド化を進める日田梨部会に今後も注目です。 【全農 九州営農資材事業所 TAC・生産対策課】

ii 100年続く産地をもっと永く!!

このような歴史ある産地ですが、2017年の豪雨災害で

巻頭連載/水田の畑地化推進につながる技術・情報	
中、小規模農家が自ら施工できる排水改良対策技術	2
栽培基礎講座/日本なし栽培の基本技術	4
栽培技術セミナー/キウイフルーツの雄樹Tバー仕立てにおける	
管理作業の効率化	6
栽培技術セミナー/かきのわい性台木の新品種「豊楽台」	8
施肥技術セミナー/わい化栽培りんご「ふじ」における	
着色向上のための窒素施肥	10
防除技術セミナー/農業散布用ドローンを活用した	
かんきつの省力・効率防除技術体系の確立	12
園芸施設技術セミナー/連載:失敗しないためのハウス導入のポイント 第6回	
暖房機器の選定のポイント	14
J A と連携した農業普及活動	
生産基盤の強化と人の確保による停滞していたいちじく産地の再成長	16
届け!全農の取り組み	
「J A 集出荷システム」で、集出荷場の業務を大幅に効率化!	18

商品ガイド/北興化学工業㈱が開発した新規拡散型製剤「楽粒®」	
第三弾として新規水稲用初中期一発除草剤「ルンバ®楽粒®」が登場	20
商品ガイド/ヤンマーアグリ社製「YH448AEJU」	
農業機械の“共同購入コンバイン”の型式が決定	21
インフォメーション	
「農林水産業と食と地域の暮らしを支えるリーディングバンク」をめざして	22
がんばる担い手/大分県日田市 J A おおいた日田梨部会 判田紀一さん	
100年以上も続く産地を末永く	24

4月号読者アンケートのお願い

よりよい誌面づくりのために、皆さまの声をお寄せください。
回答締切:令和6年4月30日(火)
回答方法:二次元コードもしくはURLから
URL:https://forms.office.com/r/zgn38izLKD?origin=iprLink

